

● 永田 和宏 選

不慣れではございますがと席に着く議長選出
シナリオ通りに (福岡市) 品川八千代
祖父は耐へ祖母は号泣せしと聞く三十四歳戦
死の叔父に (前橋市) 荻原 葉月
ミリバールと呼んでいた頃の夕立の穂高の吊尾
根死ぬかと思つた (神戸市) 松本 淳一
30度はちよつと暑くて32度はすこく暑かつ
た昭和の夏は (小金井市) 武石 文子
☆地図帳に「比島」「仏印」「北支」なく碑の
戦没地調べが続く (つくば市) 石上徳千代
アメリカは何処へ向かうか二百五十年移民の
国が移民を拒否する (静岡市) 名田 幸一
底に映る影を追いかけて追いついて夜のプール
を二人で泳ぐ (稲沢市) 山田 真人
誠実に悩む首相がかつていた日記が語る村山
富市 (枚方市) 小島 節子
海水浴客捜すドローンが紹介され誇らかに上
下す鎌倉の海を (京都市) 森谷 弘志
まずは4 数分後にはI、V、X、男の脚は
本当に自由 (枚方市) 坊 真由美

【評】品川さん、シナリオ通りに決まる役職、そして挨拶。空しい儀式だが、多くの会議はまさにこの通り。荻原さん、戦死に対するリアルな反応も、もはや間接的にしか聞けない危うさ。十首目、男の脚の組み方百態。女には許されていないと。

● 川野 里子 選

ペットボトルで育ったカニは悲しんだすべて
が見えてなにもさわれず (東京都) 浅倉 修
初対面なのに全裸の第一子 なんにも持たず
に生まれてくるのね (高松市) 藤原貴美子
次降りますボタンを小さい子に譲るわたし大
人になった初夏 (奈良市) 山添 葵
あめんぼうの銀の水輪は音もなく重なりあえ
り亡き娘の影に (市川市) 山崎 啓子
もはやあと数分ののちこの世から消える西瓜
を丁寧に切る (和泉市) 星田 美紀
子育ては大変だろうと分かる日々眼鏡をかけ
たまま眠る妻 (始良市) 井之川健児
両腕に双子抱えて歩くパパ左右交互に話して
笑って (東京都) 永倉美枝子
妻の目とわれの耳とを杖となし信号わたるこ
の世をわたる (仙台市) 石野 和夫
AIの話題ばかりの新聞で大根包みフライパ
ンふく (多摩市) 和田 幸子
身体を測定される列にいて前の子のいた床あ
たたかい (豊中市) 根尾 寛

【評】一首目、カニは作者であり現代を生きる一人一人でもある。二首目、シンプルな表現が光る。三首目、十六歳の作者。子供を気遣える自分に気づく。四首目、影としてそこにある亡き娘。五首目、勢いよく食べられ消える西瓜の鮮やかな赤さ。